

舞鶴市の分館はどこにある？

(舞鶴市図書館基本計画概要版より)

舞鶴市図書館のいまを確かめる

町住区ごとの「図書館登録率」と「ひとり年間貸出冊数」から現状と課題を知る

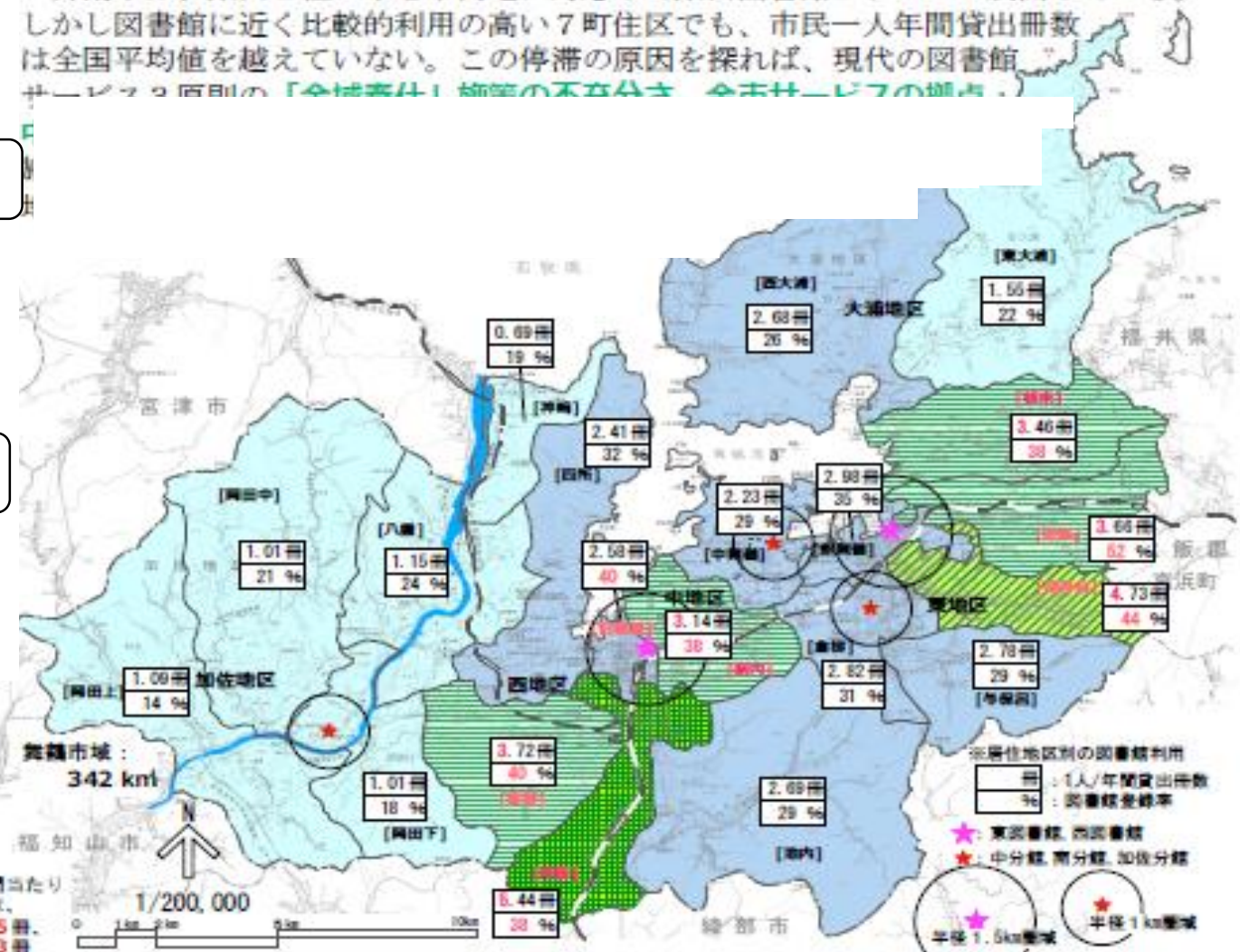
舞鶴市は、東西2極の中心市街地に対応して東西図書館がサービス展開している。

しかし図書館に近く比較的利用の高い7町住区でも、市民一人年間貸出冊数は全国平均値を越えていない。この停滞の原因を探れば、現代の図書館

サービス原則の「全域サービス」の実現は、**全市民サービスの拠点**を

★ 分館

★ 東・西館



分館は地域と密着!

公民館利用のあとでゆったい! : 中分館

平成13年に中総合会館内に移転 (97㎡)

仕事や勉強に! 親しみやすい: 南分館

昭和43年開設 (42㎡)

読み聞かせに! 児童書が多い: 加佐分館

昭和47年開設 (51㎡)



南分館

蔵書冊数 6,610冊
雑誌 5誌
新聞 2紙
登録者数 2,579人



加佐分館

蔵書冊数 10,051冊
雑誌 14誌
新聞 1紙
登録者数 83人
(毎年更新)

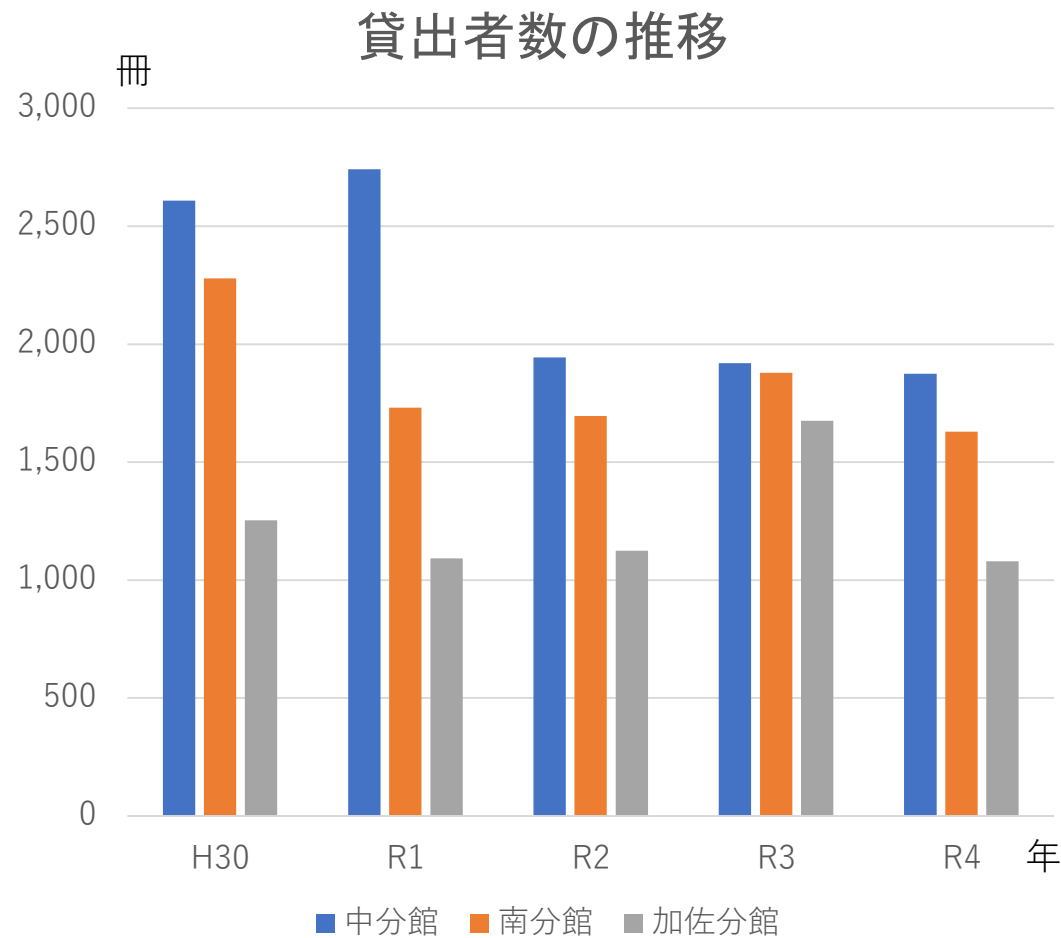
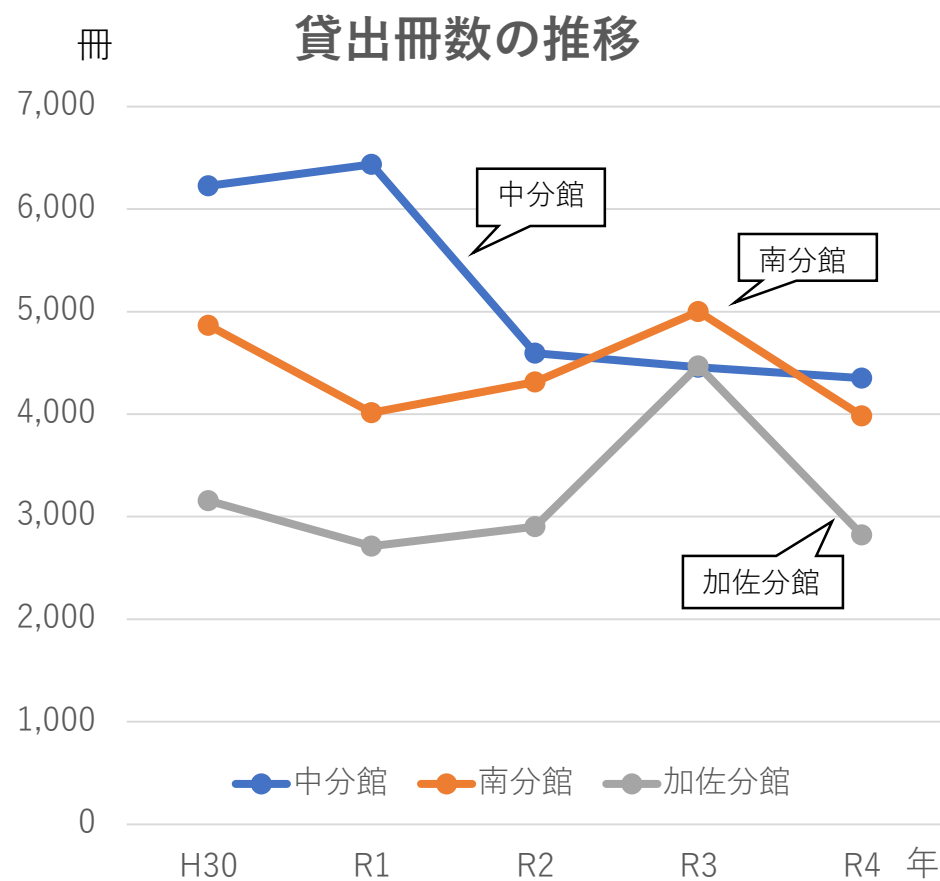


中分館

蔵書冊数 10,111冊
雑誌 10誌
新聞 5紙
登録者数 6,953人



舞鶴市立図書館 3 分館の利用状況



3分館の現状とこれからの分館像

図書館機能の充実

現在の3分館



●公民館図書室

- 他市から借り受けできない
- 公民館職員による選書
- 本の入れ替えがない(同じ資料が棚に並ぶ)

●データ管理されていない(電算化されていない)

- 資料検索ができない
- 貸出状況がデータで見れない
- ブラウン式での貸出



●東・西館とネットワークが繋がっていない

- 東西館の本を取り寄せできない(予約できない)
- 他館で分館の本を返却できない

これからの分館



★本来の分館機能を活かして

- ☆ニーズを反映した司書による選書
- ☆本館からセレクトした本を棚に配架、巡回
- ☆他市の資料を取り寄せ
- ☆司書と連携したイベントの実施
- ☆レファレンス業務による課題解決サービス

★パソコンによる業務管理

- ☆どこの館の資料も検索可能
- ☆貸出・予約状況もパソコン画面で把握できる
- ☆ピピッと貸出・返却でき簡単スピーディーで正確

★ネットワーク化

- ☆本館、分館も1枚の貸出券でOK
- ☆どこの館でも取り寄せ・返却・予約が可能